AIMC Consulting Seminar

【RFI入門講座】

～ 情報提供依頼書の書き方とITサービス選定のポイント ～

*A*ccount
*I*nformation & Intelligence
*M*anagement
*C*onsulting

エイアイエムコンサルティング株式会社
コンサルティングサービス事業部

Agenda

- **ITシステムを取り巻く環境と選定方法の変化**
  - ITシステム選定で用いるRFI・RFPとは？
  - 一般的なITシステム選定の流れ
  - ITシステムを取り巻く環境と選定方法の変化
  - RFIを用いたITサービスの選定方法
- **RFIの作成方法～RFIに記載すべき内容とは？～**
  - RFIに記載すべき内容とは
  - ITサービス選定プロジェクトの概要
  - 現システムの概要
  - 情報提供依頼事項～ベンダーについて～
  - 情報提供依頼事項～製品の機能および実績について～
  - 情報提供依頼事項～重要機能および主要課題の質問について～
  - 情報提供依頼事項～概算見積りについて～
- **RFIを用いたITサービスの評価**
  - ITサービスの評価方法
  - RFIを用いたITサービス選定のポイント

AIM Consulting Co, Ltd, All Rights Reserved.

ITシステムを取り巻く環境と選定方法の変化

ITシステム選定で用いるRFI・RFPとは？

■ ITシステムの選定方法とRFI・RFPの役割

ITシステムの選定は、人がモノを購入するときと同じように求めている条件を満たしているか『比較』を行う。一般的に流通しているモノとの決定的な違いは、**①購入側となる企業によって求める条件が大きく異なる**ことと、**②公開されている情報が少ない**という2つの点で、これらを補うためにRFIやRFPを利用する。

一般的に流通しているモノの選定

✓ インターネットで詳細な情報を得ることができる！
✓ 比較すべき項目が定型的に決まっている！

比較項目	製品A	製品B	製品C
価格	70,000円	100,000円	
画面サイズ	6.4インチ	6.4インチ	
電池容量	4000mAh	5000mAh	
	256GB	128GB	64GB
	4800万画素	6400万画素	1200万画素

得られる情報が充実している

比較項目が定型的

ITシステムの選定

✓ インターネットで得られる情報が断片的・・・
✓ 企業によって比較項目（要件）が異なる・・・

比較項目	Aサービス	Bサービス	Cサービス
価格	？？？	月500円/ID	
○○機能	対応可能	？？？	
××機能	対応可能	対応可能	
	？？？	？？？	対応可能
	？？？	対応可能	？？？

断片的な情報しか得られない

企業によって要件が異なる

比較に必要な情報を得るために、RFIやRFPをITベンダーに展開する！

RFIとは？
(Request for Information)

RFIとは、Request for Informationの頭文字を取ったもので、ITベンダーに対して『情報提供』を依頼する書類を指す。

RFIを使ってITベンダーから比較に必要な情報を入手する！

RFPとは？
(Request for Proposal)

RFPとは、Request for Proposalの頭文字を取ったもので、ITベンダーに対して『具体的な提案』を依頼する書類を指す。

RFPを使って各要件に対する実現方法等をITベンダーに提案してもらう！

AIM Consulting Co, Ltd, All Rights Reserved.

一般的なITシステム選定の流れ

■ ITシステムの選定プロセスと所要期間

ITシステムの選定は、現状調査や現状分析から始まり、抽出した主要な機能要望と共にRFIを作成し情報収集・一次選定を行う。目標とするシステム構成や業務フローといった目標を定義し、現状分析結果と合わせてRFPを作成・最終選定を行うため、**短くても6ヵ月、長い場合は1年以上選定に時間を費やすこともある。**

ステップ	実　施　内　容	所要期間
現状調査・分析	現状のシステム全体図や、システム機能・帳票・インターフェース・業務一覧を作成し、現状を可視化するとともに課題・要望の抽出を行う。	1～3ヵ月
	➢ 対象となる範囲の大きさに応じて必要とする期間は大きく異なる。	
情報収集	RFI（情報提供依頼書）を作成し、ITシステムに関する情報（概算見積等を含む）を収集する。	1ヵ月
	➢ ベンダーの数が多い場合は、RFIの段階で一次選定を行う。	
目標定義	現状の分析結果、ITシステムの情報を参考に、目標とするシステム全体図や、目標業務フローを作成する。	1～2ヵ月
	➢ ITシステム導入後だけでなく、3～5年後といった将来的な目標も定義する。	
RFP作成	現状調査・分析、情報収集、目標定義の内容をもとに、RFP（提案依頼書）を作成し、ベンダーに展開する。	2～3ヵ月
	➢ 機能要件だけでなく、導入の目的や背景、非機能要件といった内容も記載する。	
ベンダー選定	ベンダー評価項目を予め決定し、ベンダーからのプレゼンテーションや提案書を参考に評価し、最終選定を行う。	1～2ヵ月

AIM Consulting Co, Ltd, All Rights Reserved.

ITシステムを取り巻く環境と選定方法の変化

■ オンプレミス型（ITシステム）からASP/SaaS型（ITサービス）へ

システム導入において、以前は自社でサーバーを構築する「オンプレミス型」が主流だったため、初期費用が高額になり導入のハードルは高かった。近年はクラウド環境が整備されたこともあり、**「ASP/SaaS型」（サブスクリプション形式）のITサービスが増え、初期費用が抑えられて導入のハードルが一気に下がった。**

	オンプレミス型	ASP/SaaS（クラウド）型
概　要	オーダーメイドで構築するか、パッケージシステムを自社サーバーに導入すること。	ネットワーク経由によりITサービスを提供する事業者またはビジネスモデルのこと。
特　徴	システムの**自由度が比較的高い**一方、**導入期間が長く**なる傾向にある。	基本的にはパッケージ製品となるため**自由度が低い**一方、**導入期間は短い**傾向にある。
料金体系	ライセンスの購入やサーバーの準備が必要なため、**初期費用が高い。**	サブスクリプション（定額支払）で利用できるため、**初期費用が安い。**

ASP/SaaS型は導入期間の短縮や初期費用の軽減により導入（利用開始）のハードルが下がった

- ☑ **導入・利用開始のハードルの低いASP/SaaS型は、選定に時間をかけ過ぎるべきではない。**
- ☑ **自由度の低いパッケージ製品は、オンプレミス型よりも要件が絞られる傾向にある。**
- ☑ **クラウド環境による提供が多いため、バックアップやBCPといった要件の考慮が不要になる。**

RFPによる『ベンダーからの提案』ではなく、RFI の『情報提供』に基づいて選定を行う！

AIM Consulting Co, Ltd, All Rights Reserved.

RFIを用いたITサービスの選定方法

■ RFIのみを使ったITサービスの選定

RFIのみでITサービスを選定する場合、RFIの作成時間よりも、デモの比較や商談、選定に費やす時間が多くなる。RFPでは、ITシステムの自社への適合度を判断するが、**ASP/SaaS型のITサービスでは『ベンダーへの適合度』を判断**する必要がある。

ベンダー調査	RFI作成	提案業者選定	製品デモ・提案	ベンダー選定
インターネットで候補となるベンダーを検索し、コンタクトを取ってRFIの送付可否を確認する。	RFIを作成し、ベンダーに展開することで、必要な情報（不足している情報）を入手する。	RFIの回答結果をもとにベンダーを絞り込み、提案に進めるベンダーを明確にする。	ベンダーから製品デモや提案を受け、最終選定に向けた詳細な情報を受領する。	商談（見積りの要件交渉やSLAの確認等）を行い、ベンダーの最終選定を行う。
可能な限り多くのベンダーを調査し、一覧化して確認を行う！	多くの情報を取得したいが、質問が多すぎると拒否される可能性もある！	ベンダーの一覧表を更新し、どのベンダーに優位性があるか判断する！	ITサービスへ自社の業務がどれだけ合わせられるかを確認する！	金額だけでなく、サービス品質の保証（SLA）も確認が必要！

約１ヵ月　　**約２～３ヵ月**

ベンダーのITサービスへ自社がどれだけ合わせられるかがポイント！

AIM Consulting Co, Ltd, All Rights Reserved.

RFIの作成方法
～RFIに記載すべき内容とは？～

RFIに記載すべき内容とは

■ **RFIの標準的な記載事項との比較**

項　目	細　　目	要否	理　　由
提案依頼の趣旨	提案依頼の背景・趣旨	×	提案を受ける訳ではないため、自社の情報（提案依頼の趣旨、会社概要、プロジェクトの目的、システム構築方針）は記載不要。
会社概要等	会社名・資本金・売上高等	×	
ITサービス選定プロジェクトの概要	プロジェクトの目的	×	
	システム構築方針	×	
	システムの範囲	○	**見積等に影響する**可能性があるため、記載が必要。
	システムを利用する法人・拠点・組織	○	
	サービス利用開始までのスケジュール	○	
現システムの概要	システムの構成	×	提案を受ける訳ではないため、システム構成の提示は不要。
	ユーザー部門・ユーザー数	○	**見積等に影響する**可能性があるため、記載が必要。
	データ件数	○	
情報提供依頼事項	貴社について	○	ASP/SaaS（クラウド）型のITサービスでは、この情報が非常に重要になる。**詳細な製品情報（関連情報含む）とともに、サポート情報（アフターサービス等）も確認が必要。**
	貴社が取扱う製品について	○	
	製品の機能について	○	
	貴社製品の対応について	○	
	概算見積りについて	○	
その他	情報提供要領・留意事項	△	必要に応じて補足事項等を記載する。

AIM Consulting Co, Ltd, All Rights Reserved.

ITサービス選定プロジェクトの概要

■ **RFIのイメージ：プロジェクトの概要**

【RFI記入例】

1. ITサービス選定プロジェクトの概要

1-1. システムの範囲

今回対象としているシステムは、従業員が立て替えた交通費や経費を精算する「経費精算システム」となります。

1-2. システムを使用する法人・拠点・組織

対象となるシステムを使用する拠点は以下の通りとなります。

営業所：4拠点（東京、大阪、名古屋、博多）

1-3. システムの利用開始予定年月

システムの利用開始日は○○年○月となります。

Check!

システムの範囲

情報提供を求める範囲を明示する。情報収集が目的なので、広めの範囲で構わない。

Check!

システムを使用する法人・拠点・組織

見積りや保守サービスの対応可否等の確認のため、記載する。

Check!

システムの利用開始予定年月

提案を求める訳ではないので、スケジュールの詳細は不要である。

作成上の留意点

RFPに基づく提案依頼は行わないため、自社の情報（プロジェクトの背景や会社概要等）を提示してもほとんど意味をなさない。このため、自社の情報は見積りに必要な情報等、必要最低限を提示する。

AIM Consulting Co, Ltd, All Rights Reserved.

現システムの概要

■ **RFIのイメージ：現システムの概要**

【RFI記入例】

2. 現システムの概要

2-1. ユーザー数

現システムのユーザー数は以下の通りとなります。

種　類	説　　明	数
スーパーユーザー	全権限を持つユーザー（情報システム部向け）	2名
管理者ユーザー	マスタの設定権限を持つユーザー	4名
一般ユーザー	データ入力のみを行うユーザー	80名

2-2. データ件数

現システムのデータ件数は、一ヵ月あたり平均500件となります。

Check!

ユーザー数

システムによってはユーザー権限に応じた課金体系となるため、ユーザーの種類と数を明記する。

Check!

データ件数

データ件数はトランザクション数に応じた従量課金体系だけでなく、クラウド環境におけるストレージコストにも関係する。

作成上の留意点

ASP/SaaS型のITサービスは、従量課金体系を採用しているケースが多い。従量課金は、ユーザー数やトランザクション数に関係するため、ボリューム感を明示する必要がある。

AIM Consulting Co, Ltd, All Rights Reserved.

情報提供依頼事項～ベンダーについて～

■ **RFIのイメージ：ベンダー情報**

【RFI記入例】

3.情報提供依頼事項

3-1.貴社について

貴社の概要についてご教示ください。

①企業名
②事業概要
③住所（本社所在地）
④設立年月日
⑤資本金
⑥従業員数
⑦売上高
⑧グループ企業

（システム開発、導入、保守等を一緒に行っている企業）に関する情報

⑨貴社における製品の導入実績
⑩製品導入の事例
⑪標準的な導入手法
⑫標準的な導入スケジュール

Check!

貴社（ベンダー）について

ベンダーの信頼性を測る基礎情報として確認する。

Check!

導入実績・手法等

ベンダーの製品導入経験や、導入にあたってのサービス内容を把握する。

Check!

グループ企業に関する情報

グループ会社と協力してシステムを構築することも多いため、確認しておく。

Point

サポート拠点の確認

海外子会社への導入予定がある場合は、現地におけるサポート体制も確認する。

作成上の留意点

ASP/SaaS型のITサービスでは、導入にあたってのサポート内容が重要になる。自社が主体となって導入を行うケースも多くあるため、どのような支援内容が存在するか明確にする必要がある。

AIM Consulting Co, Ltd, All Rights Reserved.

情報提供依頼事項～製品の機能および実績について～

■ **RFIのイメージ：製品の機能・実績**

【RFI記入例】

3. 情報提供依頼事項

3-2. 貴社が取扱う製品について

貴社が提供している概要について、お教えください。

①製品名
②製品の販売開始時期
③製品が対象にしている企業規模
④製品が対象にしている業界・業種
⑤製品の提供形態
⑥動作環境
⑦当製品のアピールポイント

（※次スライドに続く）

Check!

製品の基本的な情報

自社の規模や業種に合っているか否かを判断する材料とする。

Check!

製品の提供形態

ASP/SaaS型のITサービスと同時にオンプレ型を提供しているケースも存在する。状況によってはオンプレ版の方がニーズにマッチすることもあるため、提供形態を確認する。

Check!

アピールポイント

製品の『強み』も確認しておく。

作成上の留意点

ITサービスへの自社業務の適合度を判断する必要があるため、同業他社の利用実績等、判断に必要な情報は可能な限り入手する必要がある。

AIM Consulting Co, Ltd, All Rights Reserved.

情報提供依頼事項～製品の機能および実績について～

■ **RFIのイメージ：製品の機能・実績**

【RFI記入例】

3. 情報提供依頼事項

3-2. 貴社が取扱う製品について

（※前スライドからの続き）

⑨画面イメージ
⑩機能の一覧
⑪帳票の一覧
⑫業務フロー
⑬当製品の導入実績
⑭当製品のサポート内容

Check!

機能等

機能や帳票、業務フローは標準的なものだけでなく、全ての情報を漏れなく収集する必要がある。

Check!

導入実績

製品自体の導入実績を確認する。

Check!

サポート内容

製品の導入、運用に関するサポート内容を確認する。

作成上の留意点

画面構成や入力項目といった画面イメージだけでなく、機能や帳票、業務フローを入手することで、ITサービスへの適合度合いを判断することが可能になる。

AIM Consulting Co, Ltd, All Rights Reserved.

情報提供依頼事項～重要機能および主要課題の質問について～

■ **RFIのイメージ：重要機能・主要課題の質問**

【RFI記入例】

3. 情報提供依頼事項

3-3. 製品の機能について

以下の業務や機能について、貴社製品の対応可否をご回答ください。

区分	重要機能・業務	対応可否
機能	交通系ICカードの利用実績を読み込む機能を有している	
機能	クレジットカードの利用実績を読み込む機能を有している	
機能	電子帳簿保存法における電子保存の法的要件を満たしている	
・・・	・・・	

Check!

重要機能・主要課題に関する質問

自社が重要視している機能・課題を記載し、対応可否を質問する。

Point

質問事項

あまり多くの質問を記載すると、情報提供を辞退されてしまう恐れもあるため、重要な業務・機能に絞り込んで確認する。

3-4. 貴社製品の対応について

以下の事項における、貴社製品の対応状況についてご教示ください。

①IFRSへの対応 ②・・・

Check!

その他の確認事項

確認したいテーマがあれば、記載して回答を求める。

作成上の留意点

新しいシステムに必要不可欠な機能（現行業務の維持・遂行に欠かせない機能やシステム構築にて必ず実現したい機能）に限定して情報を求める。

AIM Consulting Co, Ltd, All Rights Reserved.

情報提供依頼事項～概算見積りについて～

■ **RFIのイメージ：概算見積り**

【RFI記入例】

3. 情報提供依頼事項

3-5. 概算見積りについて

当RFIに記載した内容を前提とした場合における概算見積りをご提示ください。

①概算見積りの前提条件

・アドオン費用の取扱い：

・導入費用：

・システムの利用環境：

②概算見積りの内訳

イニシャルコスト（アドオン費用・システム導入費用・ストレージ費用等）

ランニングコスト（ライセンス費用・追加ストレージ費用等）

③概算見積り回答の様式

見積回答シート

Check!

概算見積りの前提条件

予算の参考にするため、可能な限り曖昧さを排除し、条件を明示する。

Check!

概算見積りの内訳

各社の概算見積りを比較して分析できるよう、内訳を求める。

Point

概算見積り

利用料だけではだけでなく、イニシャルコストや支払方法（月額払/年払）、途中解約等についても確認する。

作成上の留意点

見積りについては回答シートを準備し、そこに記載してもらうことでその後の比較が容易になる。また、見積りはイニシャルコストだけでなく、ランニングコストも合わせて確認する必要がある。

AIM Consulting Co, Ltd, All Rights Reserved.

RFIを用いたITサービスの評価

ITサービスの評価方法

■ ITサービスの評価視点と評価例

ITサービスの評価において、恣意性の排除（客観的な判断）を実現するには、評価の『ルール』や『視点』、『重要度』といった**評価基準を予め定めておく**必要がある。選定段階でこれらを決めようとすると、好ましい製品・サービスに有利な条件を定めるといった恣意性の働く可能性が高まってしまう。

評価の視点（評価項目）

自社の適合性	➢ 自社の業種・規模 ➢ 重要な要件のカバー
ベンダーの信頼性	➢ 類似企業の実績 ➢ 財務健全性
投資コスト	➢ イニシャルコスト ➢ ランニングコスト

評 価 例

評価項目		配点	A社評価		B社評価	
			評価	点数	評価	点数
製品	機能要件A	20	4	16	3	12
	機能要件B	5	2	2	4	4
	システム要件	10	4	8	3	6
	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・
	計	**60**	**-**	**53**	**-**	**46**
ベンダー	財務健全性	5	3	3	5	5
	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・
	計	**10**	**-**	**6**		**8**
コスト	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・
	計	**30**	**-**	**25**	**-**	**21**
		総合計		**84**		**75**

各項目への配点

配点の目安は以下の通りである。（100点満点の場合）

製品： 40～70点
ベンダー： 20～40点
コスト： 10～40点

※選定上重視する視点に応じて調整を行う。

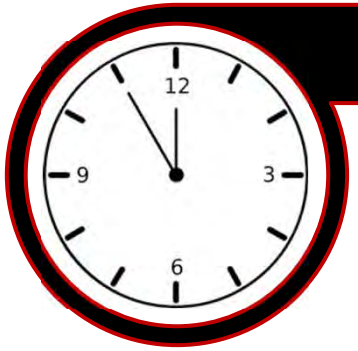
点数の算出

配点と評価から点数を計算する。
A社の「プロジェクトマネージャー」を例にとると、
（配点）20×（評価）4÷5段階＝ 16点 となる。

AIM Consulting Co, Ltd, All Rights Reserved.

RFIを用いたITサービス選定のポイント

■ ITサービス選定の留意事項



時間と労力をかけ過ぎない！

ASP/SaaS（クラウド）型の普及は、ITサービス導入のハードル（導入期間・導入コスト等）を下げることができたため、これに応じてITサービス選定に係る時間や労力も短縮する。

RFPの作成およびベンダーへの提案依頼を行わず、RFIのみで選定を行う。

『ベンダーへの適合度』を判断！

ASP/SaaS（クラウド）型のITサービスは、カスタマイズを行うことが困難であるため、ITサービスに自社の業務を寄せていく必要がある。このため、選定の際は、自社への適合度ではなく、『ベンダーへの適合度』で判断しなければならない。

重要な要件はRFIだけでなく、PoC（概念実証）等で検証を行う。

恣意性を排除して選定する！

ITサービス選定において、恣意性を含んだ評価を行うと社内で説明ができないばかりか、トラブルが発生した際の責任問題にもなり兼ねない。ITサービスを選定する際は、恣意性を排除し、客観的な評価が求められる。

評価基準の事前決定・評価の定量化で客観的な選定を行う。

AIM Consulting Co, Ltd, All Rights Reserved.

有料マスター講座のご案内

有料マスター講座は、【講義】と【演習】による実務研修となります。

- 専用の動画配信サイトにて、【3日間見放題】で配信しております。
- 配信期間内であれば、何度でも繰り返し視聴することができます。

【RFI・RFPマスター講座】

自社要件に合った最適なシステム選定の進め方

「RFI」、「RFP」はパワーポイント、システム比較表はExcelファイルを配付して詳細に解説いたします。実際に作成してみることで、システム選定の作業が体験できる演習講座となっております。

【業務改善マスター講座】

業務の可視化から改善対象業務と改善施策の見つけ方

「業務棚卸表」、「業務一覧表」、「業務フロー図」、「業務改善案件管理表」といったExcelツールを配付して解説いたします。ツールを使った簡単な演習がありますので、自社で業務改善を進める際の参考としてご活用ください。

詳細はAIMCホームページ（https://www.aimc.co.jp/seminar/）をご確認ください。

AIM Consulting Co, Ltd, All Rights Reserved.

AIMC

AIM Consulting

エイアイエムコンサルティング株式会社

https://www.aimc.co.jp

不明点等につきましては、下記よりお問合せください。

http://www.aimc.co.jp/inquiry/